

【 養成医 藤澤瑞穂先生に聞く 】 公立八鹿病院

自己紹介

名前：藤澤 瑞穂

勤務先：公立八鹿病院 内科

経歴：

2017 年 3 月 岡山大学 卒業

2017 年 4 月 赤穂市民病院 初期研修、内科後期研修

2020 年 4 月 公立宍粟総合病院 内科後期研修

2022 年 4 月 神戸大学医学部附属病院 消化器内科

2024 年 4 月 現職



地域の紹介

当院は、兵庫県北部・但馬地域の中央に位置する養父市にあります。養父市の人口は 21,179 人、高齢化率は 38%(2020 年現在)です。

最高峰の『氷ノ山』の麓に位置し、自然豊かな街です。夏はキャンプ・登山、冬には温泉・スキーなど思い立ったらすぐにレジャーが楽しめます。



キャリア形成卒後支援ユニット postgrad@med.kobe-u.ac.jp

ホームページ: <https://sotsugo.com>

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 (神戸大学総合内科医局内)

当院の特徴

養父市、香美町を主な診療圏域とし、近隣の豊岡市・朝来市とも医療連携しています。病床数は380床で、地域中核病院としての役割を担っています。

内科には、循環器内科・呼吸器内科・脳神経内科・消化器内科の常勤医師が在籍し、他には糖尿病内科・血液内科の非常勤医師にも相談できる環境で、専門的な緊急疾患にも可能な範囲で対応しています。そのほか、消化器外科、整形外科、放射線科、透析、麻酔科等も常勤医師がおり、各科で協力しながら、精力的に診療を行っています。

また、健診・人間ドック、緩和ケア外来も行っており、予防医療から救急医療、さらには終末期医療に至るまで、地域の方々が安心して過ごせるよう、幅広い体制を整えています。

県養成医だけでなく、八鹿病院独自の養成医もあり、若手医師で協力しながら活発に診療を行い、上級医によるサポートも充実しています。

地域医療の魅力

私はこれまで、地域中核病院と大学病院で働いてきました。大学病院では、すでに診断がつき、専門的な治療を目的に来院される患者さんが多いのに対し、地域中核病院では、症状の原因がわからず不安を抱えながら来院される患者さんが多いです。そのため、地域では、幅広い知識をもとに検査を行い、診断につなげる力が求められます。

さらに、地域では高齢の患者さんが多く、たとえ治療の適応があっても、その方の体力や生活の状況によっては、その治療を選択できない場合もあります。そのようなときには、患者さんやご家族、医療スタッフと話し合いを重ねながら、治療方針や今後の療養についても一緒に考えていきます。こうした経験を通して、私は医学的な知識だけでなく、患者さん一人ひとりの背景に寄り添い、関わる姿勢を身につけることができたと感じています。

地域では、病院や医師の数が限られているからこそ、自分にできることの重みを日々感じています。これからも、地域医療の現場で得た学びを地域に還元できるよう、診療に向き合っていきたいと思っています。



キャリア形成卒後支援ユニット postgrad@med.kobe-u.ac.jp

ホームページ: <https://sotsugo.com>

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 (神戸大学総合内科医局内)